

長雨による記録的な大雨

京都府を含む1府10県に大雨特別警報を発表。

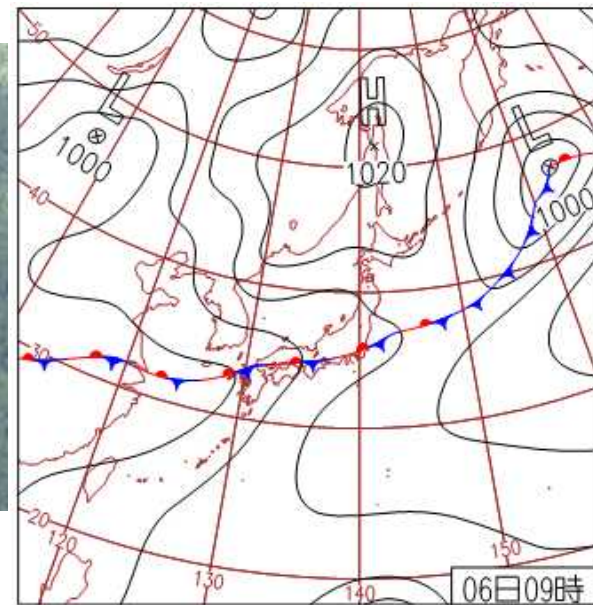
- 西日本を中心に広い範囲で長雨による記録的な大雨となった。京都府において特に大雨となったのは7月5日～7日の間で、坂浦で522.0ミリ、6月28日～7月8日の総雨量は坂浦で594.5ミリに達し、7月の月降水量平年値の2倍を超えたところが多かった。
- 京都府では由良川、桂川等の大河川が氾濫、近畿北部を中心にがけ崩れや土石流など、甚大な被害が発生した。
- 福知山市大江町公庄では天然ダムが形成され、避難勧告が発令された。



提供：国土交通省近畿地方整備局
京都府京都市右京区嵐山（桂川）



提供：国土交通省近畿地方整備局
京都府福知山市大江町公庄



地上天気図
平成30年7月6日09時

平成30年（2018年）7月豪雨（平成30年6月28日～7月8日）

総務省消防庁災害情報一覧より 令和元年8月20日
平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び 消防機関等の対応状況（第60報）

【被害状況：近畿地方】
内閣府災害情報（国土交通省調べ）
（平成31年1月9日現在）

【被害状況：近畿地方】（平成31年4月1日現在）

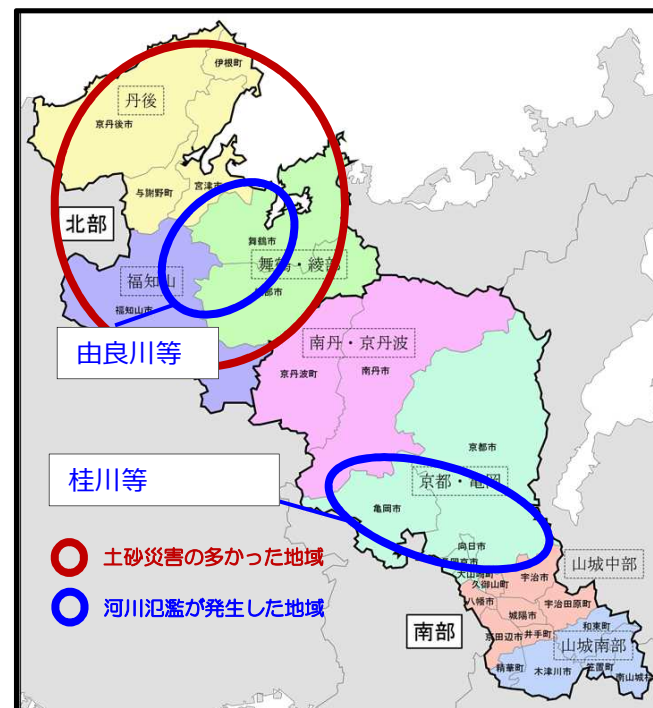
府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
滋賀	1						1		6		
京都	5		1	6	18	50	146	544	1,760	29	536
大阪			3	2	3	1	33	15	40	4	51
兵庫	2		2	10	17	19	104	68	713	18	379
奈良	1			2			14	2	54		
和歌山				1	1	1	25	104	276		102
合計	9	0	6	21	39	71	323	733	2,849	51	1,068

府県名	土石流	地すべり	がけ崩れ
滋賀			7
京都	11	2	18
大阪	1		8
兵庫	16	3	54
奈良	1		4
和歌山	3	1	17
合計	32	6	108

【避難指示（緊急）等の状況（発令市町村）：近畿地方】※市町村名は当時

府県名	避難指示（緊急）	避難勧告
滋賀	大津市	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市
京都	京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、長岡京市、京丹後市、南丹市、大山崎町、京丹波町、与謝野町	京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、和束町、精華町、伊根町
大阪	岸和田市、池田市、吹田市、高槻市、枚方市、茨木市、富田林市、大東市、箕面市、四條畷市、交野市、島本町、豊能町、岬町	堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、貝塚市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、大東市、和泉市、箕面市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、田尻町、岬町、千早赤阪村
兵庫	神戸市、豊岡市、小野市、三田市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、加東市、上郡町	神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、篠山市、養父市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、香美町
奈良	大和郡山市、生駒市、天川村	大和郡山市、天理市、桜井市、五條市、生駒市、宇陀市、山添村、平群町、三郷町、安堵町、野迫川村
和歌山		和歌山市

京都府の被害の状況

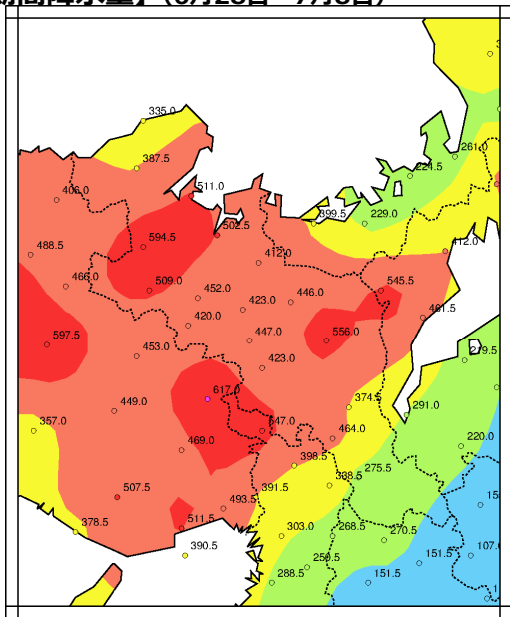


平成30年（2018年）7月豪雨（平成30年6月28日～7月8日）

【雨の状況】

京都府内の全ての観測地点で総雨量が7月の降水量平年値の値を超え、2倍を超えたところが多かった。福知山市坂浦では総雨量が京都府坂浦で594.5ミリに達し月降水量第1位を上回った。西日本や北海道の多くの観測点で24、48、72時間降水量の値が観測史上第1位を更新した。全国のアメダス地点で観測された降水量の総和は過去最大（当時）となった。

【期間降水量】（6月28日～7月8日）

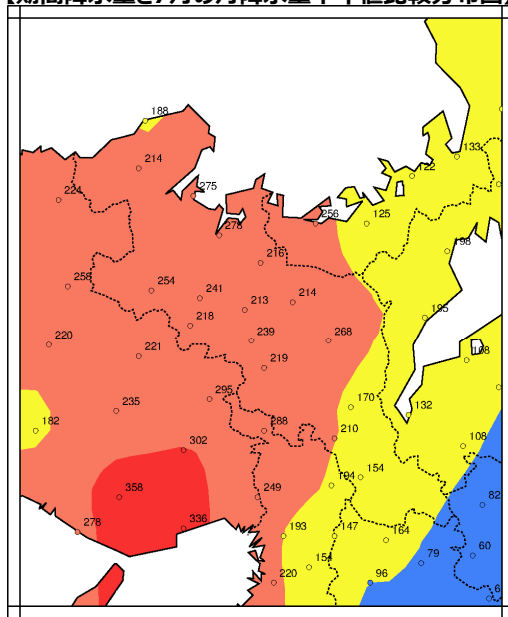


(ミリ)

48時間降水量の期間最大値の分布図

観測史上1位を更新した地点数：全国で125地点、近畿で32地点

【期間降水量と7月の月降水量平年値比較分布図】

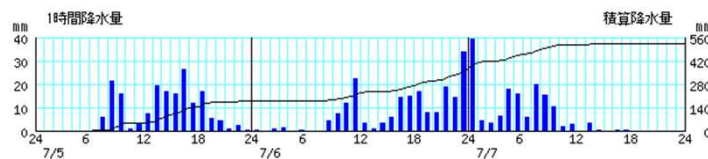


(%)

72時間降水量の期間最大値の分布図

観測史上1位を更新した地点数：全国で123地点、近畿で32地点

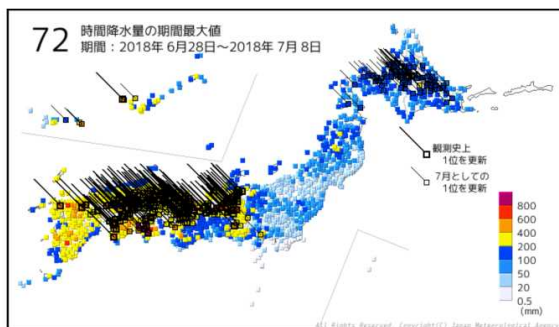
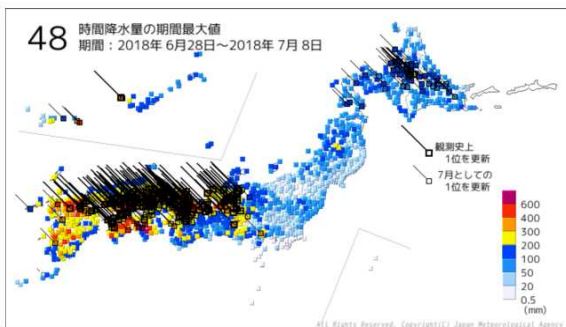
アメダス 降水量（7月5日～7日）坂浦



最大1時間降水量 65.5ミリ 7日00時37分
(舞鶴でも 7日01時11分に同値を観測)

降水量の総和 ※当時は過去最大。
(1982年1月上旬～2020年7月上旬)

順位	年	月	旬	降水量の総和 (mm)	1地点あたり (mm)	備考
1	2020	7	月上旬	208,308.0	216.1	令和2年7月豪雨
2	2018	7	月上旬	207,526.5	215.3	平成30年7月豪雨
3	1985	6	下旬	199,078.0	206.5	
4	2017	10	下旬	191,532.0	198.7	
5	1990	9	中旬	191,325.0	198.5	
6	2014	8	月上旬	173,754.0	180.2	平成26年8月豪雨
7	1999	6	下旬	161,027.5	167.0	
8	1995	7	月上旬	156,514.0	162.4	
9	1989	9	月上旬	154,334.0	160.1	
10	1983	9	下旬	146,924.0	152.4	



参考資料集

- 消防庁 平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び消防機関等の対応状況（第60報）

<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/190820nanagatugouu60h.pdf>

- 内閣府 令和元年版防災白書 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害

http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h31/honbun/0b_1s_01_01.html

- 京都府 平成30年度災害対応の総合的な検証

<http://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/documents/30kennsyokaigi-report.pdf>

- 近畿地方整備局 平成30年7月豪雨に関する情報

<https://www.kkr.mlit.go.jp/news/river/disaster/2018/ol9a8v000000yue8.html>

- 福知山市「平成30年7月豪雨 災害の記録」

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/bousai/12216.html>

- 気象庁 平成30年7月豪雨 平成30年(2018年)6月28日～7月8日

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2018/20180713/20180713.html>

- 京都地方気象台 平成30年7月5日から8日にかけての前線による大雨について（京都府の気象速報）

https://www.data.jma.go.jp/kyoto/2_data/report/doc/kishousokuhou20180705-08.pdf

雨の強さと降り方

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り	 傘をさしていてもぬれる	 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	 道路が川のようになる	ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	 傘をさしていてもぬれる	 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	 道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象) 
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	 傘は全く役に立たなくなる	 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険 
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	 傘は全く役に立たなくなる	 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険 

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

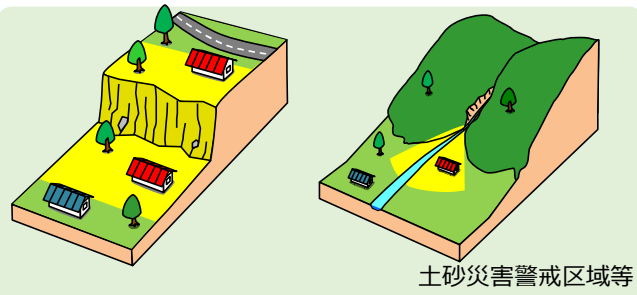
(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

大雨による災害への備え

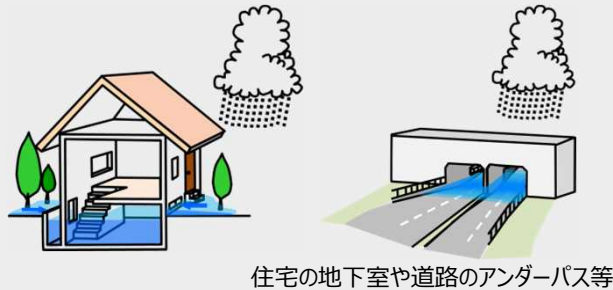
- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

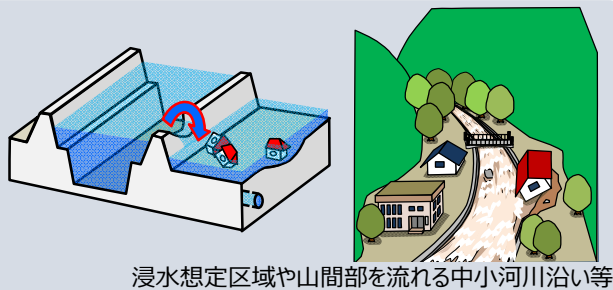
土砂災害



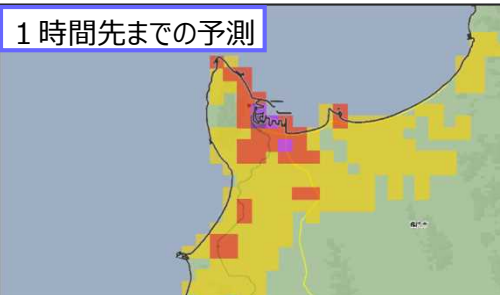
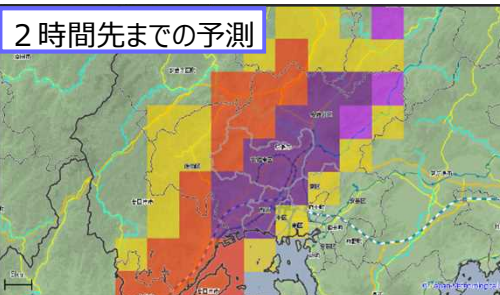
浸水害



洪水災害



危険度分布



災害の例

